

114  
A 2365

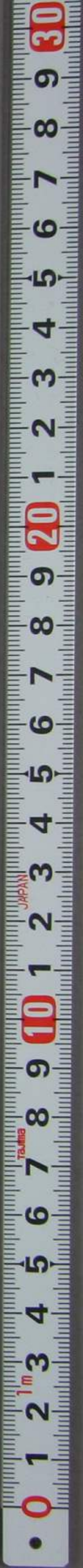


明治六年十二月十五日 佐伯惟毅  
諸務司

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

1376

輔 丞  
檢査頭 助 屬  
國債頭 助 屬  
關西鐵道會社 法律速案  
別紙關西鐵道會社改正議定書并會社  
規則相違假条寫ノ致調查何分見込





議定書ヲ改正スルノ説

関西鐵道會社創立ニ因テ明治六年五月中大藏省  
工部省京都府并ニ鐵道會社ト議定セシ所ノ誓約  
中ニ就テ改正スル旨趣ハ左ノ如シ

第一條 嚮ノ議定書ナル者ハ鐵道會社ノ本社ヲ西京

ニ置キ其本社ハ京都府ノ所轄スベキ旨ヲ以テ

陳列セシ者ナレ氏此際會社ノ釀金ハ全ク國

債タルヲ以テ今ニ之レヲ改メ直ニ其會社ハ大藏

省ノ所轄トナシ本社ヲ東京ニ置キ主トシテ

會計ノ事務ヲ總理シ分社ヲ西京ニ設ケ主トシテ工業ノ事務ヲ擔任スベシ

第二條嚮ニ建築ノ費程ハ從テ株券ヲ嚮キ金額ヲ募ル其金或ハ餘リ有リ或ハ足ラズ足ラザレハ工業ニ妨アリ餘リアレハ空ク利子ヲ損ス故ニ其方法節次呼高ヲ以テ工業相當ノ金額ヲ通融ス是レ其策ノ最モ得タル者トス然レ且之レヲ實際ニ施スニ當リテハ煩冗猥雜言フ可クシテ行フ可カラス因テ今ニ呼高ノ法ヲ廢ス

第三條既ニ呼高ノ方法ヲ廢スレバ株券發行ノ日ヨリ

隨テ買ハシ隨テ賣リ其募金工事ニ充テ猶餘リ有レハ國債券ニ於テ姑ク之レヲ運用シ之ニ對スル七厘ノ利子ハ同券ニ於テ轉付スベシ

第四條故ニ株券發行スト雖モ若シ之ニ應スル者稀少ニシテ工業ニ充ツル金額不足スルハ國債券ニ於テ其不足ヲ支給シ利息益金配當ノ割ハ外一般ノ如クスベシ

第五條既ニ第三第四條ノ如クナスハ嚮ニ議定セシ行ハ会社ニ於テ調達金相滞リ又ハ中途ニテ

度絶スルハ利息益金ヲ減省シ政府ニ於テモ  
亦建設中絶セシ時ハ利金ヲ増加スル云云ノ  
條件ハ今ニ悉ク度止セリ